

麻しん（はしか）患者の発生について

- 令和8年（2026年）9月19日（土）、麻しん（5類感染症）患者が確認されました。（県内では3件目、全国では9月13日時点で558件）
- 菊池保健所が積極的疫学調査（行動歴等の確認）を行った結果、他者に感染させるおそれがある時期に、下記の施設を利用していたことが分かりました。
- 今回の公表は、当該施設において、患者が不特定多数の方と接触している可能性があるため、広く注意喚起を行うものです。

記

<患者の概要>

- (1) 患者：男性（10歳代）、福岡市在住（実家、菊池郡）
- (2) 職業：学生
- (3) 症状：発熱、発疹等（現在、快方に向かっている）
- (4) 経過

9月13日：発熱の症状が出現

9月15日：症状が続くため、菊池保健所管内のA医療機関受診。

9月17日：発疹の症状が出現。菊池保健所管内のB医療機関受診。

9月18日：患者本人が、福岡市で麻しん患者が確認されていたことから、福岡市保健所に症状が出たことを連絡。連絡を受けた福岡市保健所から熊本県に情報提供があり、菊池保健所が保健環境科学研究所で検査を実施。

9月19日：検査の結果、麻しん陽性であることを確認。

- (5) 予防接種歴：2回接種

<患者が利用した公共交通機関・施設>

日付	時間	施設等
9月13日（日）	12：00 頃	博多バスターミナル
	12：00 発	西鉄バス ひのくに号 博多→武蔵ヶ丘
	14：00～14：30 頃	ゆめタウン光の森

※上記施設を利用された皆様へ

- ・施設へのお問い合わせは、控えてください。
- ・麻しん患者の利用日以外に当該施設を利用された場合は、感染のおそれはありません。（麻しんウイルスは、空気中での生存期間は2時間以内とされています。）
- ・上記施設を同じ日時に利用した方で、利用日から21日以内に発熱、発しん等、麻しんを疑う症状が現れた場合は、速やかに最寄りの保健所に御相談ください。
- ・医療機関を受診する際は、麻しんの疑いがあることの事前連絡及びマスクの着用を徹底いただくとともに、周囲の方に感染を拡げないよう、公共交通機関の利用は避けてください。

（裏面あり）

（問合せ先）

健康危機管理課 感染症対策班 担当：櫻田、徳永
電話：096-333-2240（直通）（内線 33154）

■ 麻疹とは

- ・麻疹は、麻疹ウイルスを病原体とする急性の全身感染症である。
- ・感染すると、約10日後に38℃程度の発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が2～4日続き、その後、39℃以上の高熱とともに発疹が出現する。
- ・感染する時期は、発症の1日前から解熱後3日後まで、感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染などで、感染力は非常に強いとされている。
- ・麻疹ワクチンによって予防が可能である。

定期接種 第1期：1歳の1年間（1歳の誕生日の前日から2歳の誕生日の前日まで）

第2期：5歳以上7歳未満で、小学校入学前の1年間

【麻疹患者報告数の推移】

年次	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
熊本県	1	2	0	0	0	0	0	1	3 ^{※1}
全国	279	744	10	6	6	28	45	265	558 ^{※2}

※1：本事例含む

※2：第37週（9/7～9/13）時点

【お願い】

報道機関各位におかれましては、個人情報保護の観点から、患者及び患者家族等について、本人等が特定されないことがないよう、各段の御配慮をお願いします。